

(3) 中部地域

ア 地域の現状

(ア) 人口と世帯数（別紙資料）

(イ) 地域の現状

中部地域は、JR天童駅を核として本市の中心市街地を形成し、官公署、商業・業務施設などの都市機能が集中し、本市の中核的な位置を占める地域となっています。地域の中央をJR奥羽本線が、東端を国道13号がそれぞれ南北に走り、地域の大部分が市街化地域であり、土地の有効かつ高度な利用を促進する必要があることから、土地区画整理事業などにより計画的な土地利用を積極的に促進してきた結果、都市基盤がよく整備された商業地と住宅地が広がっており、市街化区域については概ね宅地化を完了しています。

また、本地域には、市役所や市民文化会館、市立図書館、市立美術館、市スポーツセンターをはじめとする様々な公共施設が集積しており、本市の行政、文化、スポーツの拠点地区となっています。

さらに県内有数の温泉地である天童温泉があり、その周辺には、道の駅の機能を備えたわくわくランドや市民の憩いの広場であり中世の山城の姿をとどめる舞鶴山、歴史と文化を生かした街並みづくりを行っている天童古城西地区が広がっていることから、これらの地域資源を生かした回遊型の観光拠点としての整備などが課題となっています。

イ 地域の課題

(ア) 少子高齢化社会への対応

- a JR天童駅周辺等の市街地に、民間活力を生かして医療・福祉機関と連携した高齢者向け住宅などの整備が期待されています。
- b 駅周辺の交通利便性の高い地区に、良好な居住環境を集約的に整備し、日常生活に必要な都市機能を適正に配置する必要があります。
- c 市街地でも空き家が増加しつつあり、街並みや地域コミュニティの維持の面から、地域の生活環境に悪影響を及ぼす可能性があり、特に降雪の時期には防災の面からも問題があります。

(イ) 地域コミュニティの維持と景観の保全

- a 天童古城西まちづくりとして郡役所資料館の城山公園を再整備するなど、舞鶴山周辺を市民の緑の拠点として整備強化を図る必要があります。
- b 一日町と五日町の旧羽州街道沿道の建築物や工作物等について、宿場町・市場町のイメージを取り入れ景観に配慮した街並みづくりが求められています。
- c 主要幹線道路などについて、電線類の地中化を促進した景観形成が求められています。

(ウ) 交流人口の拡大

- a スポーツ・レクリエーション活動への市民のニーズが増大し、それぞれのライフスタイルなどに応じて、スポーツを楽しむことができる環境が求められています。

(I) 安全・安心に暮らせるまちづくり

- a 土地区画整理事業を実施していない久野本・東久野本・糠塚三丁目の地区は狭い道路があり公園も不足しているため、市街地の再整備を行う必要があります。
- b 市街地の拡大による河川下流域での都市型水害を防止するための対策が求められています。

(I) 中心市街地の活性化

- a 天童古城西まちづくりを推進し、舞鶴山周辺の整備も含めて、天童駅から天童温泉、舞鶴山、天童古城西地区まで回遊できる機能を強化することが求められます。
- b 独自のイベントなどを開催し、中心市街地を活性化させるとともに観光地としての天童温泉の魅力を増大させることが求められています。

(I) 工業・業務系団地の開発

- a 国道13号東側沿線の事業所等が廃屋と化している物件や事業所等の跡地について、都市機能の適切な誘導を図るとともに、周辺環境と調和した工業・流通業務系の団地の造成にあわせて再編成を進め、また、市街化区域の住居地域内の既存工場の操業環境と居住環境双方の改善を図る必要があります。

ウ 地域の将来像と目標

(7) 地域の将来像

にぎわいとうるおいのある人と人が温かくふれあう地域づくり

にぎわいと潤いのある市の中心地域づくり（現マスタープラン）

(I) 地域の目標

今後は、工場・店舗・事務所等の移転・廃業等に伴う低未利用地の活用を積極的に進めるとともに、中心市街地については、商業施設、公共施設、住宅地などの多様な機能の集積を進め、まち中で歩いて暮らせる集約型都市構造の構築を目指します。

また、地域内の農地については、スプロール化を招く恐れのある無秩序な開発を防止し、計画的な市街地の形成を図ります。

本市の中心的役割を果たす地域にふさわしいにぎわいのある中心市街地の形成を進めるとともに、点在する観光資源を生かし観光拠点としての魅力向上を図っていきます。

エ 地域づくりの基本的な方針

(7) 機能が集約されあらゆる世代への優しさを備えた地域づくり

- a JR天童駅周辺等の中心市街地に、民間活力を生かした医療・福祉の機能を備えたサービス付き高齢者向け住宅の整備の可能性について調査・研究を進めます。
- b 居住者の生活の利便性の向上を図るため、駅周辺の交通利便性の高い市街地への居住を促進するとともに、医院、商店街など、暮らしに必要な機能を集約し、自家用車に過度に依存しなくても徒歩や自転車で買物などの日常生活を不自由なく送ることができる集約型の地域づくりを進めます。
- c 空き家の全容を把握するとともに、個別事案ごとに必要とされる対策を整理する

ため、空き家台帳を作成し、管理不全な空き家の所有者への是正指導と助言を行い、改善を目指します。

(イ) 自然環境と調和し地域コミュニティを維持・増進する地域づくり

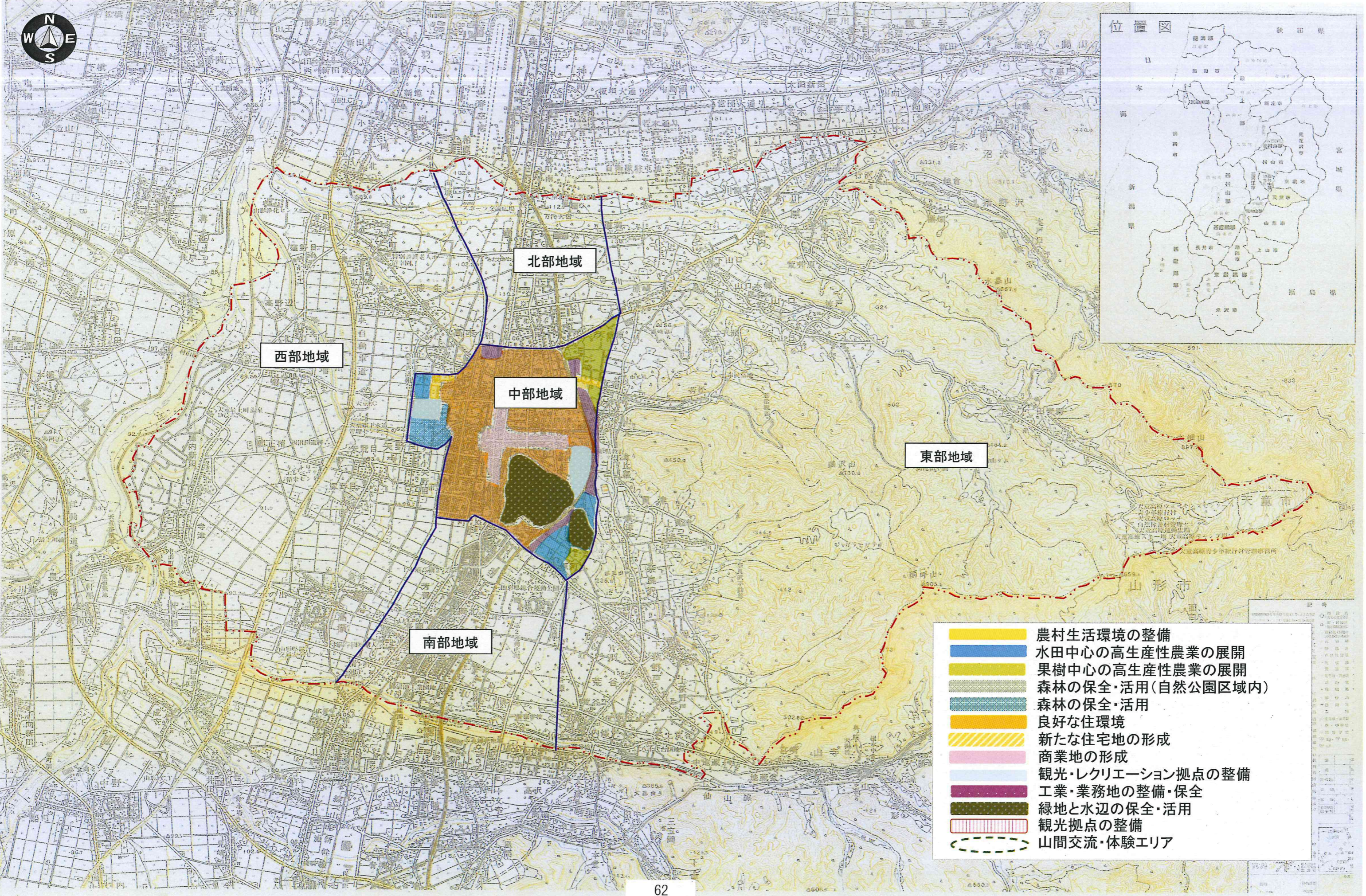
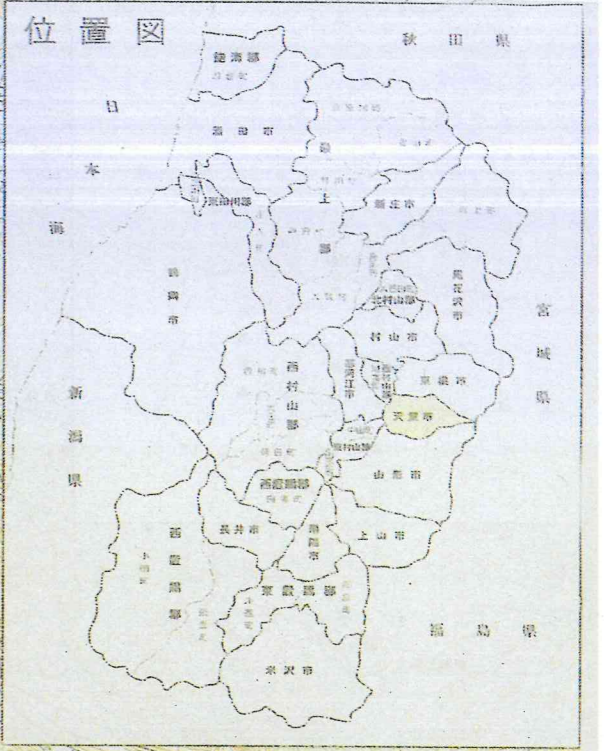
- a 舞鶴山については、愛宕沼を含め、天童古城としての歴史的遺産や、自然景観や歴史、文化に配慮しながら、観光と市民が集う憩いの空間として整備を進めます。
- b 一日町と五日町の都市計画道路山形老野森線沿道の建築物や工作物等について、蔵造りや歴史的雰囲気を残す建物の保存に努めるとともに、羽州街道の宿場町・市場町のイメージを取り入れ、景観や、歴史と文化の香りを大切に街並みづくりを進めます。
- c 中心市街地の主要幹線道路などについては、電線類の地中化を促進し歩行空間の確保や都市景観に配慮した景観形成を進めます。
- d スポーツ・レクリエーションの拠点として、市スポーツセンターの修繕を行うとともに、新たに整備計画を策定し、さらなるスポーツ環境の充実を図ります。

(ウ) 安全・安心で環境に対する負荷の少ない地域づくり

- a 市街化区域の中で、面的整備が行われないまま用途指定された久野本・東久野本・糠塚の既成市街地について、補助制度や関連事業との連携を図りながら、防災まちづくりなど地域の特性に応じた整備を推進します。
- b 倉津川の洪水対策として、市全体の雨水排水対策を見直し、倉津川への負担軽減を図る施策を展開します。

(イ) 地域の産業が持続的に成長・発展する地域づくり

- a 天童古城西まちづくりを推進し、JR天童駅と天童温泉、わくわくランドから舞鶴山、天童古城西地区へと、回遊して親しめる周辺観光の拠点として、温泉街と調和のとれた中心市街地の活性化を図ります。
- b 「天童市中心市街地活性化基本方針」に基づき、商店街等が行う催し物や環境整備を支援するとともに、商店街の情報発信を強化します。
- c 仙台圏や首都圏などからの天童温泉への誘客を視野に入れて観光誘客キャンペーンを実施します。
- d 市民の健康づくりと交流人口の拡大を目指してクアオルト推進事業を展開し、健康ウォーキング「クアの道」の整備や誘客メニューの開発に取り組みます。
- e 国道13号東側沿線においては、新たな工業・業務団地の造成を進め、地区計画等を導入して既存の工場の再配置を行い、市街化区域の住居地域内の既存工場の操業環境と居住環境を改善し、市街化調整区域の国道13号沿線に開発された建物が、廃業等により空き家となり、廃屋と化している物件についても、工業・業務系の団地の造成にあわせて再編成を進めます。















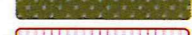
北部地域

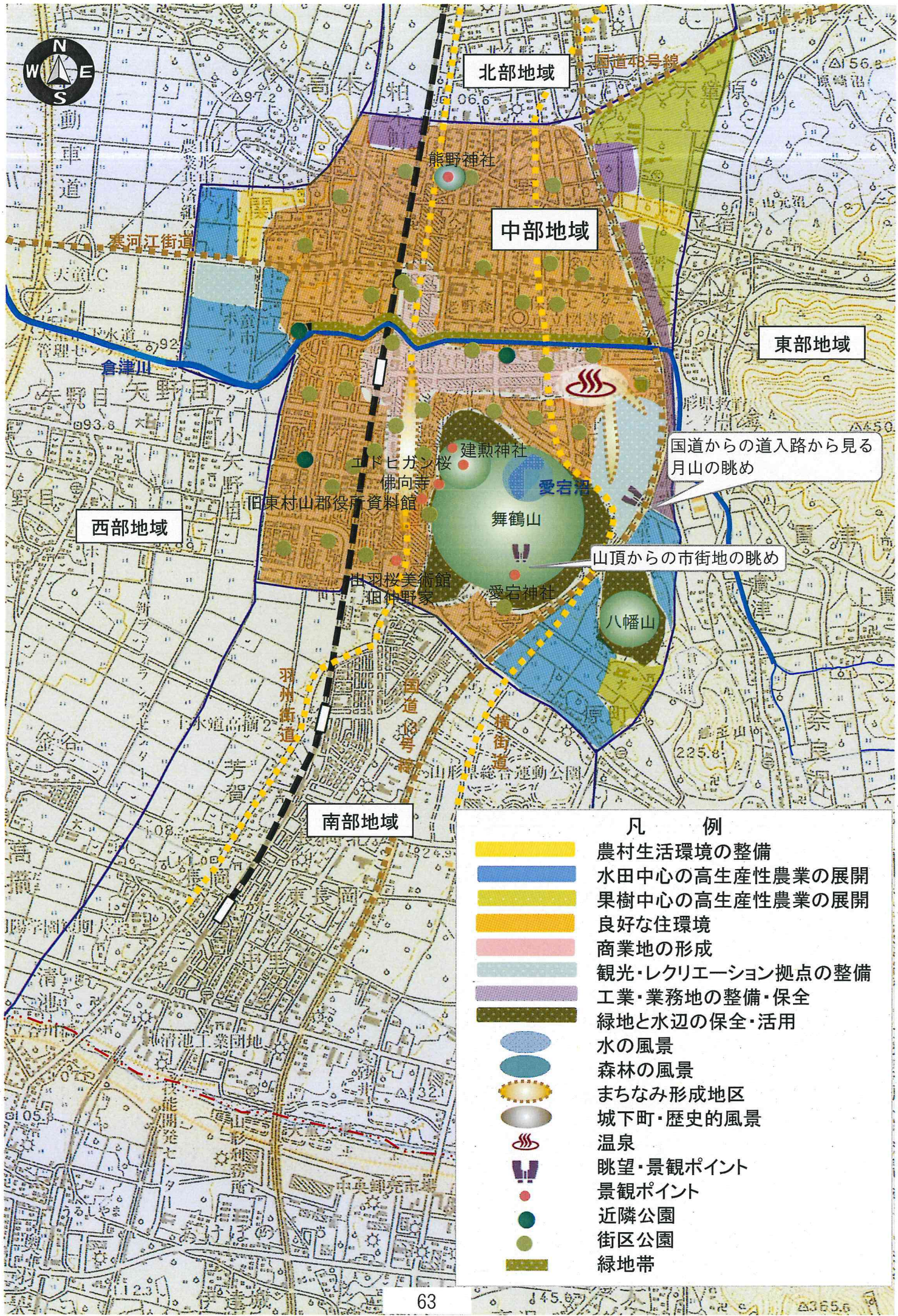
西部地域

中部地域

東部地域

南部地域

-  農村生活環境の整備
-  水田中心の高生産性農業の展開
-  果樹中心の高生産性農業の展開
-  森林の保全・活用(自然公園区域内)
-  森林の保全・活用
-  良好な住環境
-  新たな住宅地の形成
-  商業地の形成
-  観光・レクリエーション拠点の整備
-  工業・業務地の整備・保全
-  緑地と水辺の保全・活用
-  観光拠点の整備
-  山間交流・体験エリア



北部地域

中部地域

東部地域

西部地域

南部地域

国道からの道入路から見る
月山の眺め

山頂からの市街地の眺め

凡 例

-  農村生活環境の整備
-  水田中心の高生産性農業の展開
-  果樹中心の高生産性農業の展開
-  良好な住環境
-  商業地の形成
-  観光・レクリエーション拠点の整備
-  工業・業務地の整備・保全
-  緑地と水辺の保全・活用
-  水の風景
-  森林の風景
-  まちなみ形成地区
-  城下町・歴史的風景
-  温泉
-  眺望・景観ポイント
-  景観ポイント
-  近隣公園
-  街区公園
-  緑地帯